

ごみと資源の分け方、出し方



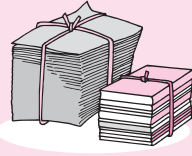
注目!

4月から「ごみと資源の分け方、出し方」が 変わりました!

町民カレンダーの「ごみと資源の分け方、出し方」は、毎年見直しをしています。

資源ごみの紙の分類を見直しました

これまで資源ごみの紙類は「新聞紙」「ダンボール」「雑誌」「紙パック」でした。紙の資源化をさらに進め、もえるごみを削減するため「雑誌」を「雑誌・雑がみ」に変更しました。



雑誌・雑がみ

雑誌・書籍・菓子箱などの紙箱・パンフレット・コピー用紙・包装紙・紙袋など



「雑がみ」を出すときは十文字にしぼるか散乱しないように封筒や紙袋に入れるようにしてください。

「雑がみ」ってなに?

日常生活で使われた次のものが該当します

- ◇商品の入っていた紙製の箱
(例)衣類・菓子・化粧品・たばこ・食品等の入っていた箱、プリンやヨーグルトの台紙、トイレットペーパーの芯など
- ◇紙のみで作成された冊子
(例)カタログ、説明書、ダイレクトメール、手帳、ノートなど
- ◇紙・プリント類
(例)学校からのプリント、メモ用紙、手紙、折り紙、画用紙、はがき、名刺など
- ◇包装の際、使用される紙製品
(例)包装紙、手提げ袋、封筒、割りばしの袋など

※プラスチック、ビニール、セロファン、テープ、ホチキス針、銀紙、金具類は取り除いてください。

もえるごみになります

次のものは紙類として資源化できませんので、混ぜないで「もえるごみ」として出してください。

- ◇汚れ・臭いが付着しているもの、紙以外のもの
- ◇ラミネート加工、感熱紙、カーボン紙など特殊加工の施してあるもの
(例)ティッシュペーパー・紙おむつ・シール・シール台紙・粘着テープ・写真(プリクラを含む)・アルバム・バインダーファイル・油紙・感熱紙・レシート など



このようなものが該当



散乱しないように封筒や紙袋に入れて(雑誌にはさむ、ひもでしぼる)



【注意】「紙マーク」は「紙製容器包装」の識別表示であり、リサイクルできる紙の表示ではありません。リサイクルに支障がある内側がアルミ貼りの紙パックやカップラーメンのふたなどは「もえるごみ」として出してください。

ごみの減量化、資源化にご協力を!

~できることから始めよう~

平成19年11月に開催したまちづくり町民集会のテーマのひとつ「ごみの減量化」。特に「生ごみの水切り」「紙の資源化」の取り組みにより、もえるごみの減量を進めることをお願いして、約4か月が経過しました。

町のごみの減量化・資源化を進めていくには、町民の皆さんの協力が必要です。今月号では、「なぜごみを分別し、減らさなくてはいけないのか」「ごみと資源の分け方、出し方」「雑がみとは何なのか」などをお知らせします。

環境防災課 ☎84-0314

なぜ分別が必要なの?

私たちの生活からは、毎日たくさんのごみが出ています。また、ごみは、年々増加しており、多様化しています。皆さんの出すごみの中に、まだ使える資源が多く入っているということはありませんか?

ごみが資源となるか、焼却されたり、埋立てられたりするかはごみを捨てる時に決まります。ごみと資源を分別することで、資源は再利用され、その結果として、ごみの量は減るのです。

なぜごみを減量化するの?

その理由は、「捨てる場所がない」ということが大きな理由です。

開成町のごみは、足柄西部環境センターで焼却され、最終処分場に運ばれています。最終処分場とは、簡単に言うところ埋める場所、県外に運ばれています。埋立て処分場は現在、国内においても満杯に近づいている状態です。

いつまで、開成町からの焼却ごみを受け入れてもらえるのでしょうか。

ごみを分別すれば、その分、焼却効率もよくなり、焼却炉の寿命が延び、埋立地の延命につながります。

また、ごみの処分は、決して安いものではありません。町民ひとりあたり年間1万5千円以上の費用がかかっており、ごみの増加に伴い、年々増加しています。ごみを出しているわたしたち一人ひとりの手でごみを分別して、ごみを減らす必要があるのです。

町のごみ問題だけと 考えないで

2008年は地球温暖化ガスの削減を目標とした京都議定書の目標期間の最初の年にあたります。日本は、1990年と比較しマイナス6割の削減を目指さなければなりません。地球温暖化を防ぎ、限りある地球資源を守るためには、できる限り再利用して資源として循環させ、有効に使う必要があります。ごみを減らすことは、地球の温暖化防止をはじめ、資源

や環境にかかわる重要な課題といえます。

ルールを守って資源化にご協力を!

「めんどろだなあ」「私だけだったら」「少しだけだったら」という気持ちを持っている人はいませんか。「分け方、出し方」のルールを守って、しっかり分別することで、開成町の資源再利用を進めることができ、結果として、資源化率が向上します。

町民カレンダーで収集日や分類などをよく確認のうえ決められた時間・場所に出してください。

分別の徹底は皆さんの協力が必要です。ルールを守ってごみの減量化・資源化にご協力ください。

